

# 暴力団 二度と許さぬよう

3月25日、藤ヶ谷清掃センターの事件を受け、別杵速見広域事務組合は新年度のゴミ焼却場の運営を直営に切り替えるため、臨時議会を開きました。

住民の税金であるゴミ焼却場の委託料が暴力団に流れていたという大変な事件が起き、受託していた会社の社長らが逮捕・起訴されています。浜田市長の支持者水永容疑者は起訴事実を認めました。

## 当初から共産党は反対

えんど久子議員ら日本共産党は、3年前に別府環境エンジニアリングに委託する時から「設立したばかりの実績がない会社に委託するなどおかしい」と指摘し反対。それでも3年間委託してきた浜田博管理者らの責任は重大です。

## 火種を残してはならない

臨時議会で、えんど議員は「二度と暴力団の関与を許してはならない。暴力団関係者を排除し火種を絶対に残さないため、安全で環境に配慮した運転・運営をし健全な清掃センターにするため、強い決意でのぞまなければならぬ。浜田管理者の考えはどうか」と問いました。

管理者は「ご指摘の通りだ。肝に銘じて暴力団関与を許さず、炉を止めず安全に、これからの運営にがんばっていく決意です」と答弁。

## 青中の新体育館が完成



青山中学校体育館は、旧体育館の1.8倍の広さで、市内の小中校で最大です。えんど市議が求めてきたバリアフリーや避難所機能も充実しています。多目的トイレには簡易ベッドなども整備。災害用備蓄倉庫や太陽光発電もあります。朝日小体育館にも同様の設備ができました。

## 身元のしっかりした人を

直営で運営するための臨時職員25名の採用について、えんど議員は「暴力団員と飲食を共にした人は雇うべきでないが、どうか」と質問。

管理者らは「採用前に個人名で調査するのは難しい。採用時に暴力団との関係がないかの誓約書を出してもらい警察に照会し、そういう事実が明らかになったら即やめてもらう」と答弁。

「事件との因果関係を調査し、身元のしっかりした人を採用しなければならぬことは、当然のことだ」と、えんど市議は強調しました。

日本共産党市議団のHPや、えんど久子のHP「はっぴーえんどとねっと」をぜひご覧下さい。

日本共産党 別府市議団  
**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.548  
2013.3.27.

# 会社の元役員は採用すべきでない

## 住民は許さない

えんど議員は「別府環境エンジニアリングの元役員は採用すべきでない。これは当たり前のことだ」と主張。しかし、管理者らは飲食の件の答弁と同じ答弁を繰り返すばかり。えんど議員は「暴力団にお金 flowed 会社の幹部として元役員も会社運

営にかかわってきた。刑事責任は問われなくても、採用すべきでない。住民は納得しない」と、何度も何度も管理者に答弁を求めました。しかし、浜田管理者は「暴力団との関係はわからない」と答弁。採用しないとはどうしても言いません。

## やる気がないなら辞めよ

えんど久子議員は、「口では暴力団排除を言いながら、具体的措置をとろうとしない。そんな姿勢では火種を残してしまふ。真相解明に全力投球すると言ってきたが、その姿勢が見えない。そういうことなら、今すぐ管理者をやめるべきだ」と迫りました。

管理者は「議会の総意

で管理者をやめろと言うなら真摯に受け止める」と開き直りました。えんど議員は「強い決意で暴力団を排除しないと信頼回復できない。何かあるのかと思われても仕方がない」と批判。傍聴席からも「そうだ」「おかしい」と声が上がりました。

傍聴して共産党議員の果たす役割は大きいと実感した。もっと多くの市民に見てほしかった。

浜田市長の不誠実きわまりない態度に腹が立った。市民を何と思っているのか！

70代女性

70代男性



## 力をあわせて粘り勝ち

杵築のかく喬議員、日出の佐藤たかのお議員など日本共産党議員らは、別府環境元役員の不採用を粘り強く求めました。

一方、加藤信康議員からは「旧役員はなぜ役員をやめたのか。辞めさせられたのか。旧役員を採用しないのも難しい」などの意見や管理者らを評価する発言もありました。

佐藤議員の質問中、とうとう三ヶ尻議運委員長が休憩し協議するよう管理者に求めました。

協議後、浜田管理者は「元役員3人も採用試験を受けた。試験結果が出た後、正副管理者3人で判定会議を行い、きょう出た意見を参考にすると答弁。元役員は採用しない方針を示唆しました。」